

「見て、見て、ぼくの水鉄砲」

3歳児のIくんが、水鉄砲とペットボトルを持ってきました。

わえ、見とって!

いいよ、Iくん。何をやるのかな?



Iくんは得意そうな表情を見せると、水鉄砲の口に、逆さにしたペットボトルを当てました。

こうやって...



水鉄砲の水は、勢い良くペットボトルの中に入っていました。

ほら!

わあ!すごい。噴水みたいやね。



わあ!

ぼくもやってみよう!



おもしろそう!

Iくん、どうやってするの?

あそびの中で見つけた新しい発見に、大喜びの子どもたち。暑さを吹き飛ばすような笑顔が、水しぶきの中で輝いていました。

「ひまわり咲いたよ」

5歳児の子どもたちが種をまいて育てたひまわりが、次々に大輪の花を咲かせました。



わたしのひまわり、のほけになったよ。

ぼくのも!

大きいね。

たんぽぽみたいなお色しとるね。

花火みたい。

らいおんみたい。

まん中、ふわふわ...

かわいい。

ひまわりをやさしく見つめる子どもたち。

JくんとKちゃんは、絵を描き始めました。



ぼく、ひまわりの絵、描こうと。

わたしも!

ひまわりの色や形、手ざわりや香りを楽しむ子どもたちの姿から、自分たちが育てたひまわりへの思いが伝わってきました。



花びらいっぱい。

くんくん

どんな匂いかな。

ひまわりのことか、もっと好きになった。子どもたちです。

やわらかい...

ここに食べさせておこうと。